

平成19年度 渡田こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	渡田こども文化センターの管理運営に関すること 田島小学校・向小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こ文においては運営協議会、こども会議の開催を通じて意見や要望の把握に努めた。また、利用団体に直接要望を聞くなどの働きかけを行った。わくわくプラザにおいては保護者懇談会、こども会議を開催して意見、要望の把握に努めた。また、ご意見箱を作り、会議などの場ではつかめないこども達や保護者のニーズの把握に努めた。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	昨年に引き続き、ゲーム機、プロジェクターを使い、幅広い行事を行った。また、卓球台を常に使用できるようにした。開放的な文化センターの作りを活かし、小中高のこども達とコミュニケーションを深めた。タイムケアとの関係も深めた。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	館長が田島小の施設開放委員の一員として活動し、また、地域教育会議やその活動に参加した。子ども会田島支部の総会にも出席し地域住民との交流を深めている。健全育成事業については、事業計画に沿った活動を行なっている。	地域との連携をはかり事業を実施したことは評価できる。また、今後も、ボランティアの活用を努めること。
個人情報の取扱いに関する こと	個人情報の記載のある書類に関しては、すべて鍵のかかる場所へ保管している。デジタルカメラによる映像データに関しては、公開の可否を保護者へのアンケートにより確認した。	個人情報の取扱いについては、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	館内清掃と遊具の点検を毎日行っている。また、中学生が多く来館する時は館内を見回り、小学生とのトラブルが無い様に気を配った。子どもたちが外で遊んでいるときには、頻繁に見回り、塀に登るなどの危険な行為については注意をした。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、田島小学校・向小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化 センター	延べ利用者数 23,266人 延べ団体利用数 4,982団体 (主な行事等) プラバン工作 おばけやしき (特色のある行事) 高津人形座が来るよ	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 田島小学校わくわくプラザ 登録者数 156人 延べ利用者数 8,633人 (主な行事等) チャレンジデー わくわく歓迎会 (特色のある行事) わくわくはねつき大会 2 向小学校わくわくプラザ 登録者数 167人 延べ利用者数 12,247人 (主な行事等) 工作 一年生を迎える会 (特色のある行事) カロム大会	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">49,618,815</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">39,652,056</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td style="text-align: right;">2,934,113</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td style="text-align: right;">1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td style="text-align: right;">1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td style="text-align: right;">909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td style="text-align: right;">40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td style="text-align: right;">636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">47,546,003</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td style="text-align: right;">2,072,812</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	49,618,815	支出	人件費	39,652,056		管理費	2,934,113		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	47,546,003		差引	2,072,812	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	49,618,815																														
支出	人件費	39,652,056																														
	管理費	2,934,113																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	47,546,003																														
	差引	2,072,812																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。